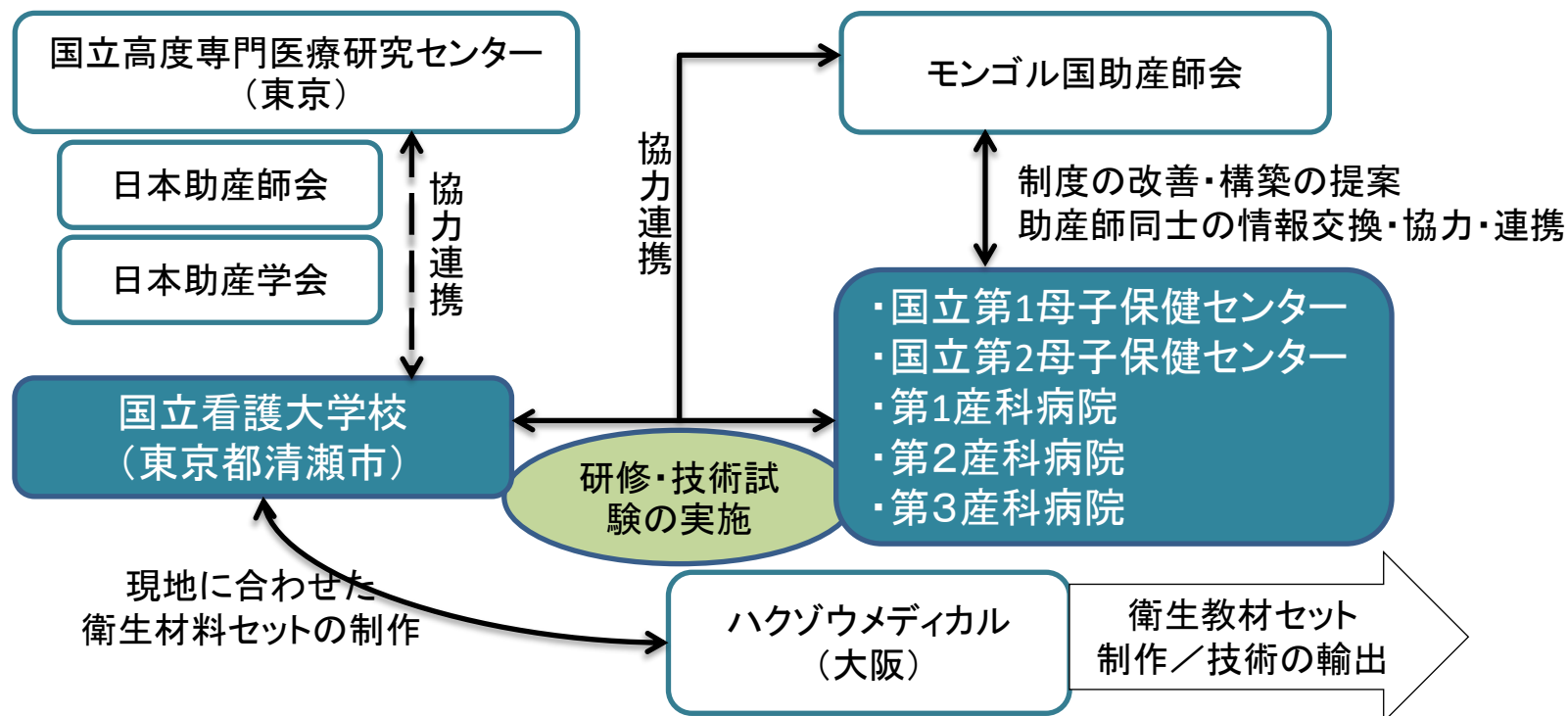


モンゴル国の助産師における分娩介助技術向上事業; 経産道感染と産道裂傷の予防技術

- **背景**: 大病院集約化により新生児死亡、5歳未満死亡が改善した反面、妊産婦死亡の改善に遅れがみられ、「感染」が主な原因とされている。また、助産師の新規養成停止と業務範囲の制限等により助産師の技能低下が顕著になった。
- **事業概要**: モンゴル国の助産師の分娩介助技術を、日本の助産師の技術研修によって向上させる。
- **成果**: 助産師会主要メンバーが①軟産道裂傷のリスクの低い分娩介助技術を習得する、②衛生材料の適正な選択・使用と経産道感染リスクの低い分娩介助技術を習得する、③主要産科病院にてスタッフ助産師が①②を実践する、④モンゴル国全土の助産師への周知を目指す。



<研修スケジュール予定>

- 4月～**: 事業計画・運営会議 (web会議)
- 6-7月**: ①軟産道裂傷のリスクの低い分娩介助技術の伝達
- 8-9月**: ②衛生材料の適正選択、経産道感染リスクの低い分娩介助技術の伝達
- 10-11月**: ③主要産科病院内でのスタッフ助産師への周知
- 12-1月**: ④モンゴル国全土への周知方法の検討、評価アンケート
- 2月**: 報告会 (Web)・意見交換、今後の課題と方針まとめ